

第3次いきいき西区ささえあいプラン
西区全体計画進行管理票

資料2

NO	取組名	取組内容	3年後の目標値（R5）	R2実績（参考）	R3実績	目標値に対する現状と課題	R4の取り組み	担当
1	支え合いのしくみづくりの推進	支え合いのしくみづくりの推進のため、支え合いのしくみづくり会議や推進員、地域団体等と連携し、日常生活圏域ごとに住民主体の生活支援サービス等を創出し、地域の茶の間の新規・拡充を支援します。	地域住民等を主体とした訪問型生活支援サービスの創出、地域の茶の間の増加及び拡充（累計件数）61件	地域住民等を主体とした訪問型生活支援サービスの創出、地域の茶の間の増加及び拡充（累計件数）52件	地域住民等を主体とした訪問型生活支援サービスの創出、地域の茶の間の増加及び拡充（累計件数）60件	住民主体の訪問型生活支援サービスの新規立ち上げが3件の他、地域の茶の間の新規立ち上げが5件と、住民の皆様同士の支え合い活動が広がっています。	住民主体の支え合い活動が広がりますよう、引き続き、支え合いのしくみづくり推進員と協働で、周知啓発や支援を行います。	地域福祉担当
		支え合いのしくみづくりの理解を深めるため、研修会を行います。	支え合いのしくみづくり研修会・地域の茶の間研修会開催数2回	支え合いのしくみづくり研修会・地域の茶の間研修会開催数2回	支え合いのしくみづくり研修会開催数1回	地域の茶の間研修会は感染拡大により、開催できず、書面配付としました。	「支え合いのしくみづくり研修会」及び「地域の茶の間研修会」を引き続き開催していきます。	地域福祉担当
2	避難行動要支援者対策	高齢者や障がい者、要介護者など災害時に自力で避難することが困難な方を対象として、避難行動要支援者名簿を作成し、地域の自主防災組織や援護体制の整った自治会、町内会等援護する方に配布し、災害時に地域で支援する体制を確立します。	防災訓練での避難行動要支援者訓練実施率80.0%	防災訓練での避難行動要支援者訓練実施率48.0%	防災訓練での避難行動要支援者訓練実施率68.4%	防災訓練の実施についての相談を受けた際、避難行動要支援者訓練の実施を提案することでR2よりも実施率を上げることができました。一方で、要支援制度をよく知らなかったり、要支援者訓練の実施方法が分からなかったりする自主防災組織も一定数あり、地域差があるのが現状です。	引き続き窓口で助成金交付申請書を收受する際に避難行動要支援者訓練の実施について自主防災組織活動助成金が増額されることをPRしたり、訓練方法についてアドバイスを行ったりすることで訓練の実施と継続を推進します。	地域福祉担当 総務課安心安全係
3	子ども・子育て支援新制度の推進	「子ども・子育て関連3法」に基づく、幼児期の学校教育・保育や、放課後児童クラブなどの地域の子ども・子育て支援を総合的に推進します。	環境整備の推進	くろさきパステルこども園・令和保育園の新設 放課後児童クラブ移転整備による狭隘化の解消	施設の新設や移転整備は該当なし	平成30年10月に策定した新潟市立保育園配置計画に基づき公立保育園の統廃合を進めていくことが課題となっています。引き続き、子どもたちが地域の中で健やかに育つ環境整備に努めていきます。	公立保育施設の統廃合や私立保育施設の整備、放課後児童クラブの狭隘化解消対策は、新潟市子ども未来部が予算化し検討を重ね取り組んでいます。西区も連携しながら環境整備に取り組んでいきます。	児童福祉担当 こども支援担当
4	NPプログラム、BPプログラムなど、育児支援講座の実施	子育てに不安を感じている親同士が学ぶ講座を実施し、育児の不安、孤独感の軽減や仲間づくりを支援します。	毎年20講座実施	参加者120組	20講座実施 (コロナ禍で参加者数を制限している状況であるため、参加者数ではなく開催講座数を目標値としました。)	妊娠期から子育て期までの各期にわたる子育て支援講座を年間目標の計20講座開催しました。今後も講座の実施により仲間づくりを効果的に支援し、育児の不安・孤独感を軽減していくことが課題です。	継続して子育て支援講座を実施し、育児の不安・孤独感の軽減を図るとともに、子育て仲間づくりを支援します。	こども支援担当
5	にしっこはぐくみLINK	妊娠周期や乳児月齢に合わせたタイムリーな情報と、西区の子育て支援情報・相談先や育児講座・イベント等の情報、お知らせを一緒に配信します。	R5年度末累計登録者数5,500人	累計登録者数3,520人	R3年度末累計登録者数4,719人	窓口などでの積極的な案内・広報による成果もあり、年間の登録者数は目標を大きく上回る1,119人となりました。今後も多くの方にタイムリーな情報が届き、必要な支援につながりやすくなるよう、効果的な案内・広報を行っていくことが課題です。	継続して妊娠週数や月齢に応じたタイムリーな子育て支援情報を配信するとともに、多くの方に登録していただけるように広報します。	こども支援担当

第3次いきいき西区ささえあいプラン
西区全体計画進行管理票

NO	取組名	取組内容	3年後の目標値 (R5)	R2実績 (参考)	R3実績	目標値に対する現状と課題	R4の取り組み	担当
6	区役所におけるふれジョブの受け入れ	障がいのある子どもたちの仕事の体験の場「ふれジョブ」を、区役所で実施します。	随時受入	受け入れ人数 0人	受け入れ人数 0人 ※ふれジョブからの依頼で、H28に庁舎内の雑紙回収とシレッタ- ※それ以降受入れ要請の依頼なし。	障がいのある子ども達が希望の職種で仕事体験を行う事業であるため、目標値設定は行えない。	いつでも受入れが出来るよう、態勢を整える。	障がい福祉係
7	障がい者の通所施設における夜間支援事業	障がい者の通所施設において、当該事業所を使い慣れた利用者が家族の急病など緊急時に限り、宿泊の利用を実施します。	受入可能施設 3施設	受入可能施設 2施設 (市内で5施設)	受入可能施設：市内5施設 (うち西区)2施設 ・あすなろ福祉会 ・青山ファクトリー	緊急時の受け入れ態勢が整っていることが家族の安心感につながるため、受入れ可能な施設をどう増やしていくかが課題。	事業所の協力が必須であるため、継続的な働きかけを行う。	障がい福祉係
8	障がい者基幹相談支援センター事業	地域における相談支援の中核的な役割を担う基幹相談支援センターを西区役所内に設置(西区と西蒲区所管)し、相談支援を体制を強化します。(市内に4か所設置)	支援件数 4,400件	支援件数 4,510件	支援件数 4,879件	大人のみならず、子どもの相談件数も増加傾向にある。	支援件数は、年々増加傾向にあるため、引き続き障がい者に寄り添った支援を行う。	障がい福祉係
9	農福連携サポーター事業	農福連携マッチング機関と連携を図りながら、「農福連携サポーター」を農場へ派遣し、障がい者へ農作業についての指導を行うことで、障がい者の自立や就労に向けた支援を行います。	サポーターの農場への派遣時間 240時間	サポーターの農場への派遣時間 215時間	サポーターの農場への派遣時間 258時間	天気に影響される部分のあるが、冬場の農作業支援を行ったことにより、目標であった220時間を上回った実績となった。 受入れ農家と登録サポーターをどう増やしていくかが課題。	今年度も引き続き、障がい者の自立と就労に繋がるよう、委託機関と障がい関連事業所と共に連携を図っていく。	障がい福祉係
10	ウォーキング講習会等	ウォーキングの基本的な学習と実技、継続のための工夫について学ぶ講習会です。	情報発信の推進	開催数6回 参加者 延べ 81人	・「まずは学ぼうNewスタイルウォーキング」DVDの完成。 ・区だよりやホームページ等でのPR (YouTubeの視聴回数212回) ・市民への貸出 27件 (R4年1月~)	区だよりやホームページ、日々の保健事業等で情報の発信を実施している。ウォーキング等の運動習慣が定着していない方も多いため、今後も継続して情報発信を継続していく必要がある。	・区だよりやホームページ等での情報発信の継続。 ・健康リーダー(食生活推進委員及び運動普及推進委員)への情報提供。 ・健康相談や健康教育等で対象者への情報発信等	健康増進係
11	誰でもどこでも健康教室	地域団体からの依頼で出張して行う教室で、計測、食事の講義、運動実技、歯科指導を実施します。	開催数20回	開催数14回 参加者194人	開催数9回 参加者数91人	当初の依頼回数は、目標値に達する20回でしたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催数が前年度に比べて減りました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策をとり、開催に取り組みます。	子どもの健康を切り口に、親自身の生活習慣も見直すきっかけをつくります。また、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策をとり「新しい生活様式」を踏まえた内容で安全に取り組みます。	健康増進係

第3次いきいき西区ささえあいプラン
西区全体計画進行管理票

NO	取組名	取組内容	3年後の目標値 (R5)	R2実績 (参考)	R3実績	目標値に対する現状と課題	R4の取り組み	担当
12	高齢者の体操自主活動サポート	地域の高齢者が利用しやすい老人憩の家等で実施する体操教室で、自主グループの育成も支援します。	開催数24回	開催数24回 参加者171人	開催数36回 参加者228人	目標を上回って実施することができている。介護予防・閉じこもり予防に寄与していることから、今後も引き続き取り組む。	地域の高齢者が利用しやすい老人憩の家等で実施する体操教室で、体操の安全な継続と自主グループ育成を支援する。	健康増進係
13	小中学生認知症サポーター養成事業	認知症の方が住み慣れた地域で暮らせるために、次代を担う小中学生に認知症について知ってもらうことを目的として、小・中学校において認知症サポーター養成講座を開催します。	年間の小中学校での開催数18校	西区内の9小学校で開催	西区内の12小中学校で開催	R2は前年度の50%減となりましたが、R3では増加傾向が見られました。対象が小中学生であるため、コロナの影響を受けやすいため、その対応が課題となります。	今年度は養成講座の受付を新潟市西区キャラバン・メイト連絡会（オレンジにし）とすることで、開催にあたり、日程調整や講師派遣などの対応がスムーズに行えます。	高齢介護担当
14	敬老祝会助成事業	75歳以上の高齢者の長寿を祝う敬老祝会を実施する自治会やコミ協に対し助成します。	事業実施	事業活用団体10団体	令和3年度は感染拡大のため、事業が休止となりました。	令和3年度は感染拡大のため、事業が休止となりました。	令和4年度は事業を進めており、自治会様、コミュニティ協議会様へ周知を図り、助成の円滑な処理を進めます。	地域福祉担当
15	社会を明るくする運動の推進	犯罪や非行のない安全・安心な地域や、立ち直りを支える地域づくりを進めるために、関係団体と協力し、社会を明るくする運動を推進します。	社会を明るくする運動の推進	社会を明るくする運動の推進	7月15日～18日 内野まちづくりセンターにて社会を明るくする運動パネル展を実施	新潟中央地区保護司会と連携して運動に取り組み、犯罪防止や立ち直りへの理解への啓発を行った他、区だよりにパネル展の様子を掲載し、活動の周知啓発を図りました。さらに、1月12日には保護司会と民生委員会長の情報交換会を開催し、地域に根差した活動への相互理解を深めました。	新潟中央地区保護司会と連携して、引き続き社会を明るくする運動に取り組みます。	地域福祉担当
16	子ども学習支援事業	生活困窮の状況にある世帯の中学生等を対象に、週2回学習会を開催します。新潟大学と新潟青陵大学の学生スタッフとともに勉強を進め、学習意欲を高め、高校進学を促進します。	学習会参加登録者数 45人	学習会参加登録者数 45人	学習会参加登録者数 45人	真に支援が必要な世帯の掘り起こしから継続的な支援につなげるには、世帯の実態を把握することが大切だが、保護者を含めたコミュニケーションづくりが困難です。	学習支援員(教員OB)を活用し、専門的な観点から世帯へのアプローチを行い、支援につなげていきます。	保護課 社会福祉協議会
17	見守り訪問活動の推進	見守りが必要な高齢者等の孤独感解消や安否確認のため、地域のボランティアや民生委員児童委員が乳酸菌飲料を持って訪問します(友愛訪問)。また、歳末時期にはおせち料理を配ります。	実施団体118団体 訪問世帯1,340世帯	実施団体116団体 訪問世帯1,337世帯	実施団体115団体 訪問世帯1,333世帯	近年は横ばいで経過。コロナ禍で活動を休止している団体は見守り電話活動を活用するなどつながりを絶やさない工夫をされている。	未実施自治会への周知として、コミ協、地区社協での集まりを活用し、既に取り組まれている団体との情報交換の機会を設ける。	社会福祉協議会

第3次いきいき西区ささえあいプラン
西区全体計画進行管理票

NO	取組名	取組内容	3年後の目標値 (R5)	R2実績 (参考)	R3実績	目標値に対する現状と課題	R4の取り組み	担当
18	地域のふれあい交流活動支援	「地域ふれあい助成」や「地域歳末たすけあい助成」(歳末時期対象)を行い、自治会やコミ協、地区社協の世代交流や顔がわかる関係づくりのための行事を支援します。	地域ふれあい事業活用団体 65団体 120件 歳末助け合い事業活用団体55団体	地域ふれあい事業活用団体 17団体 33件 歳末助け合い事業活用団体11団体	地域ふれあい事業活用団体 26団体 40件 歳末助け合い事業活用団体21団体	新型コロナウイルス感染症の影響で、集まっての行事が難しいなか、高齢者等の見守り訪問活動にも対象を拡大したため、取り組みが広がりました。	感染症対策しつつ、つながりをもてる活動が円滑にすすむよう、引き続き自治会の相談にのっていきます。	社会福祉協議会
19	地域の茶の間(ふれあい・いきいきサロン)の支援	身近な地域で気軽に集まり交流できる居場所づくりを支援します。	地域の茶の間等居場所の数 95団体 (助成利用の有無問わず)	事業活動団体 55団体 (申請したが、活動せず助成金をすべて返還した団体15含む)	地域の茶の間等居場所の数 92団体 (助成利用の有無問わず)	再開する目的が立たずに廃止してしまう地域の茶の間もありますが、再開する団体や、新規で地域の茶の間を立ち上げた団体など活動している団体数は戻りつつあります。	立ち上げや、再開、継続の相談にのっていくとともに、研修会や情報交換会を開催し、地域の茶の間同士のネットワークづくりを支援します。	社会福祉協議会
20	子育てサロンの支援	子どもたちが一緒に遊び、交流する場、未就学の子どもを持つ親の情報交換、気分転換の場など、定期的に子育てサロンを実施している団体に助成します。子育てサロンや子ども食堂などの子育て支援団体のネットワークづくりを行います	助成事業活用団体 6団体 子育て支援団体のネットワーク構築(メーリングリストで情報共有など)	助成事業活用団体 6団体 申請したが、活動せず助成金をすべて返還した団体2含む	助成事業活用団体 4団体 子ども食堂情報交換会 1回	コロナ対策の工夫を凝らしながら実施している居場所がある一方で、活動休止中のサロンも多くあります。子育て中の親子の居場所が少なくなっており、親子の孤立が懸念されます。	子育てサロンの立ち上げや、再開、継続の相談にのっていきます。ネットワーク構築にむけて社協の助成を受けている団体から取り組んでいきます。	社会福祉協議会
21	コミュニティソーシャルワーク事業	制度の狭間にある世帯、複数の問題を抱える世帯等の相談に対応し、専門職との連携を進め、地域の協力を得ながら、課題解決に向け支援します。また、専門職や関係機関とのつながりを広げるネットワークづくりのため、にしCo.Mi.NETを開催します。	相談件数 600件	相談件数 1,769件	相談件数 1,280件	コロナ禍による困窮の相談が未だ多く続いています。複数の課題を抱えた世帯の相談も多くあります。	西区ひきこもりびとミーティング等、ネットワークを活用し支援にあたります。	社会福祉協議会
22	生活困窮世帯等への支援	低所得者世帯等を対象に、生活福祉資金の貸付を行います。ケースにより関係機関と連携し対応します。子ども食堂の立ち上げ相談や、フードバンク等と連携し、生活困窮世帯等への支援取り組みを応援します。	相談対応の実施	—	生活福祉資金貸付事業 相談件数 1,596件	コロナ禍で減収した世帯からの相談に対応しました。	コロナ特例の貸付制度が、4年8月末まで延長されましたので(5月末現在)引き続き、相談に対応します。	社会福祉協議会
23	日常生活自立支援事業	認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方の福祉サービス利用や支払いの管理等について、研修を受けた支援員が援助します。	契約者 34人	契約者 31人	契約者 29人	成年後見制度への移行などによる減減があります。初回相談から契約に至るまで、繰り返しの訪問と丁寧な説明が必要なため時間を要するのが現状です。	市社協専門員、区担当が協力して新規問い合わせにあたり、スムーズな対応を目指します。	社会福祉協議会

第3次いきいき西区ささえあいプラン
西区全体計画進行管理票

NO	取組名	取組内容	3年後の目標値 (R5)	R2実績 (参考)	R3実績	目標値に対する現状と課題	R4の取り組み	担当
24	地域福祉活動の啓発	地域福祉推進フォーラムや社協のひろばの開催、広報紙「西区社協だより」「ぼらちゃん」(ボランティア市民活動情報紙)の発行を通し、社協事業や地域福祉活動、ボランティア活動を周知・啓発します。	フォーラムでの理解度アンケート80%以上	テーマ 大人の発達障がい アンケート結果 「とても参考になった」 「参考になった」 計96%	テーマ アウトリーチによるひきこもり支援 アンケート結果 「とても参考になった」 「参考になった」 計93%	ひきこもり支援をテーマに開催し、アンケート結果からも関心が高いことがわかりました。	地域共生社会や地域福祉活動をテーマにしてフォーラムを開催する予定です。	社会福祉協議会
25	福祉教育の推進(出前講座)	学校、地域、企業等からの依頼により、福祉全般に関する学びの場を提供します。併せて福祉の学びの機会を広めるため、市民や学校に向けて周知、啓発します。認知症サポーター養成講座や防災訓練での車いすを使用した避難などを実施します。	学校・地域・企業など 合計15件	小学校 6校 中学校 1校 大学 1校	小学校 10校 中学校 1校 大学 2校 企業 1社 団体等 5団体	コロナ禍の中で、地域や福祉施設との交流体験ができない状況でしたが、オンラインなどを活用して、学校・企業等に向けて福祉の学びの機会を提供することができました。	福祉の学びの機会の提供だけでなく、地域に向けた福祉の実践につながるよう意識して取り組みます。	社会福祉協議会
26	緊急情報キット配布事業	70歳以上の高齢者又は障がい者で健康上の不安のある方や、地域で見守りが必要とされる方を対象に、病気や服薬、緊急連絡先などを記載できる情報用紙及びそれを入れる筒を、自治会経由で配布します。	既配布件数 累計 5,406件	既配布件数 累計 4,656件	既配布件数 累計 4,925件	新規の申し込みは一定のペースであるものの、情報更新が行われているかが課題です。	新任の自治会長さんが取り組みに迷われた際のフォローができるよう、地区社協への事業周知も行っていきます。	社会福祉協議会
27	おもいやりのひとかき運動	主要な場所に除雪用のスコップを設置し、バスや信号待ちの人達から、ひとかきの除雪に協力していただく運動です。	設置箇所 107ヶ所	設置箇所 105ヶ所	設置箇所 108ヶ所	新規設置箇所も含め、自治会より運動の理解を得て設置することができました。	広報周知など自治会の理解を得ながら、新潟市と協力して運動を展開します。	社会福祉協議会
28	ボランティア相談	ボランティア・市民活動の相談に幅広く応じ、活動につなぎます。安心して活動できるよう、ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険等の受付をします。	相談件数 174件	相談件数 168件	相談件数 177件	少しでも感染状況が落ち着くと、人との関りや生きがいを求めてボランティア相談が多く寄せられたように思います。今後さらに多様な活動内容・活動先を調査・研究し、開拓します。	ボランティア希望があっても活動先が少ない現状が続いていますが、希望者を活動に繋げるように、同時に活動の充実や継続の支援に注力していきます。	社会福祉協議会
29	ボランティアの育成	ボランティアきっかけ講座、各種ボランティア講座等を開催し、担い手の人材育成を進めます。また、ボランティアを受入している施設の担当者研修を実施します。	開催数 2回 参加者 30名	開催数 1回 参加者 21名	開催数 5回 参加者 25名	「現代課題を学ぶ講座～生きづらさ・ひきこもり～」などを開催し、ボランティアや市民活動の担い手育成を進めました。感染症拡大防止のための人数制限で、参加いただけなかった方もいたため、より多くの方が参加できるように工夫して講座を企画します。	生きづらさを抱えた人も安心して参加できるボランティア活動の場をボランティアと一緒に作ります。	社会福祉協議会

第3次いきいき西区ささえあいプラン
西区全体計画進行管理票

NO	取組名	取組内容	3年後の目標値 (R5)	R2実績 (参考)	R3実績	目標値に対する現状と課題	R4の取り組み	担当
30	災害ボランティアセンター準備	災害ボランティアセンターを学ぶ研修や立ち上げ訓練を実施、また日頃から関係団体・機関によるネットワークを構築し災害発生時の災害ボランティアセンター運営ができるよう準備を進めます。	災害ボランティアセンターに関する関係機関団体が集まる機会（ネットワーク会議等）を毎年1回以上開催	ネットワーク会議・研修を1回開催 6団体・機関が参加	ネットワーク会議・研修を1回開催 6団体・機関が参加	災害時にボランティアセンターに関わる関係機関・団体が参集のもと、ネットワーク会議を開催することができました。	災害ボランティアセンターに関する関係機関団体が集まる機会（ネットワーク会議等）、及び、災害ボランティアセンター設置運営研修を行います。	社会福祉協議会
31	元気カアップ・サポーター	高齢者が福祉施設等でのサポーター活動を通じて自身の介護予防の推進と社会参加を目的としたポイント還元制の事業です。毎月説明会を開催し、サポーター登録を進めます。	受入協力機関 100事業所 サポーター 510人	受入協力機関 96事業所 サポーター 507人	受入協力機関 98事業所 サポーター 498人	活動先がなくサポーターの退会が続きましたが、少数ながら新規登録者も増えてきました。福祉施設だけでなく図書館などの公共施設が受入施設となったことで、新たな活動の場が生まれたことが一因だと思います。今後も施設とサポーター両方面に本事業のPRを促進し、併せて応援事業も充実させていく必要があると思います。	新型コロナウイルス感染拡大から2年経ち、限定的ではありますがサポーター受入に動きが出ています。今年度は受入施設に訪問するなど、現状把握とニーズの聞き取りを積極的に行いたいと思います。また他のエリア担当者との情報交換を活発に行い、応援事業のマンネリ化を防ぎ充実した活動の場を提供したいと思います。	社会福祉協議会
32	住民同士の生活支援サービスの推進	自治会単位のお助け隊のような、ゴミ出し、除雪、電球交換等生活支援の支えあいのしくみづくりを支援します。	35団体 (自治会等含む)	—	32団体	生活支援の助け合いを行う団体が増えつつありますが、ケアマネージャーなど専門職との連携に課題があります。	ケアマネージャー向けに、住民主体の生活支援団体との連携の方法について研修会を実施します。	社会福祉協議会